

潜在助産師研修会アンケート (講義内容に関する自由記載より) 福岡会場

① 母子保健の動向と課題

- ・現在の母子保健の動向と課題に限られた時間の中でよくまとめてあり、わかりやすかった。
 - ・行政の視点から助産師に求められていることが大まかに理解できた。
 - ・助産師の求められる役割を深く知る事ができた。
 - ・母子保健の現状と課題を整理して伝えていただいた。課題は多いが力をつけていきたい。
 - ・現場を離れて久しいので今の母子保健のいろんな動きがわかってよかった。
 - ・自分が小児医療の中で助産師としてがんばりたいと思っているため、今自分がやりたいと思っていることに対する自信に繋がった。
 - ・現在の動向を分かり易かった
 - ・今の国としての動向がわかった。出産を核に様々な年齢層に関わる事が出来ればと思った。
 - ・お産は本当に生き方を学ぶものだと思います。子育てとの中で出産時のトラウマにとらわれている母親が多いことに気づき、反省させられる自己があります。
 - ・社会が抱える問題の中で私達助産師が援助して解決・改善に向かうことがたくさんあることがわかり子育てを終えた今、なんとか約に立てればと思いました。(どこかの分野で)
 - ・勤務を離れると現状がわからないので参考になりました。分娩(妊娠から産褥)以外に幅広く必要との新しい発見でした。
 - ・行政の動きを知る事ができた。
 - ・今必要とされているニーズを学ぶことができ、目標が定めやすく勉強になりました。
 - ・数年前と変わらない情報が多かったのだ。
 - ・「健やか親子」の存在を知り様々な社会(子ども達、母子)の問題を知る事ができました。助産師の現状を詳しく知る事ができました。
 - ・助産師は病院にとどまらず、様々な活動の場がある事がわかりました。今後活かしたいです。
 - ・話が単調で眠くなる。内容は妥当であろうが、説得力がない。
 - ・よく理解できました。
 - ・現在の日本の母子保健の同行(統計上の数値)と課題、その中で助産師に望まれる役割をお話いただき、幅広い役割を考える事が出来ました。
 - ・現在の動向がとても分かり易くよく理解できました。
 - ・現在の日本における助産師にむけられる期待と国レベルでの「健やか日本21」をもとにわかりやすく示され今後の活動を考えるにあたり役立った。
 - ・行政のことがわかりやすく知る事ができた。行政と連携して母子保健に取り組むことも必要と感じた。
 - ・現在の母子保健の問題点、課題、具体的に何をすべきなのかが詳しく理解できた。自分が助産師学校で勉強してきたこととやや変化しており、時代の流れを感じた。
 - ・流がよくわかりやすかった。内診問題など現場での問題をもう少し詳しく知りたかった。
 - ・行政の取り組みやこれからの助産師に求められているものなどがよくわかりました。
 - ・現状を知る事ができた。今まで目を向けていなかったことを痛感した。
 - ・母子保健は苦手な分野ですが、現状をととてもわかりやすく話してくださって、理解することができました。施設の出産に携わるだけが助産師の仕事ではなく幅広い分野で役にたっているのかなと思ったりしました。
 - ・現在厚生労働省が取り組まれている新しい情報を知る事ができてよかった。しかし、他の職種の女性と同様、助産師であっても子育てをしながら働くためにはクリアしなければならない問題が沢山ある。まず男性が早く帰宅できるようもっと企業に働きかけてください。そうすると経済が…となるのでしょうか。
 - ・母子を取り巻く環境が多様化し、様々な社会問題が出てきている現在、助産師はそれらの問題解決に役立つ立場とし、期待されているといことを実感しました。
 - ・ややもすると難しくなりがちな行政の計画をわかりやすく説明していただきました。
 - ・現在の母子保健動向が理解しやすく、今後の課題を自分自身の問題として考えさせられました。また助産師としての社会的立場をしっかりと認識していかなければならないなあと感じました。
 - ・産科を離れ最新の母子保健法をというのを自ら探る事もない日常なので、今日の日本や政治がどういう目標をもってどういうことをやっているのかよくわかった。

- ・ 現在における母子を取り巻く環境、現状、問題点そして助産師としての期待といったことわかりやすく話していただきました。「ブランクも立ち止まる時間と自分の道を見つけてください」の言葉に励まされました。
- ・ 今日の日本の現状がとてもわかりやすく具体的に教えてもらえ私達の役割の重要性を再確認できた。
- ・ 母子保健の動向がよく理解できる内容だった。
- ・ 行政の現場から最新の母子保健の現状を細かく教えていただきその上で私達潜在助産師の力が必要だと口説かれたような感じでまだ役に立ってるのかなと自信がわいてきた。
- ・ 現在の国の施策をわかりやすく説明していただきとても参考になりました。やっとな国の施策もここまでできたのかと思うとまだまだ私達が頑張っていかなければと感じました。
- ・ 内容的には知識の復習という感じだったが、講演の方法としてはわかりやすくスクリーンも簡潔に上手にまとめてありさすがという感じでした。

② 妊産婦のニーズと助産師の役割

- ・ 優しいお話ぶりで、癒されました。母子支援の家庭的サポートの仕方共感しました。
- ・ 先生のこれまで生きてこられた軌跡、母子への想いとこれまでのご苦労が伝わってきました。
- ・ 当たり前のことを分かり易く話していただきました。学術的にしっかりとらえて話されてあると思います。信頼のできる方だと改めて思いました。
- ・ わが子の子育ても振り返ると反省ばかりで、涙がでました。今からでも愛情を注げば間に合うかなあ。これからのお母さん達に是非伝えたい内容でした。
- ・ 地域での助産師の役割の重要性を強く感じた。
- ・ 助産師の役割について改めて考える機会になった。
- ・ 久しぶりに先輩助産師の話聞かせてもらい助産師ってすごいんだと改めて実感した。地域を通してがんばっているk先生に出会わせてもらいありがたく思った。
- ・ あらためて助産師のすばらしさ、魅力を感じた。他の仲間や悩めるお母さん方にも聞いてもらいたい内容でした。
- ・ 同年輩でありながら甚大なお働き頭の下がる思いです。
- ・ 助産師の本来あるべき姿を見つめなおす事が出来ました。理念と方向性を持ってしかも未来を想像しながら活動しないとよい結果は生まれません。女性の教育、自立が幸福な社会の基盤になると確信した。
- ・ 助産師のあるべき姿を再確認できました。
- ・ 助産師のあり方を考えるのに頭でなく心でとらえられる講義でした。
- ・ 妊婦さん、産婦さん自身の自立にそっと寄り添いながら必要な時のみ手をさしのべること、少しはなれたところで見ることの大切さを学びました。
- ・ 本来の助産師のありかた、目標を改めて考えるきっかけになりました。
- ・ 自分の助産師としての今後の進路や、どの分野で働いていくか、自分のライフワークをどの分野でとするか、今すごく悩んでいるので、少し先が見えて来たような気がしました。ありがとうございます。
- ・ 話の内容、すべてに引き込まれました。
- ・ 助産師には勘、原始的感覚を高めて行く必要があること、それが利用されること感じました。
- ・ 助産師の役割やこれからの自分の人生の展望を再考させられました。
- ・ 初めてのはなしでユーモアがあり、説得力ある。近くにすごい人がいたんだと思知らされた。
- ・ 助産のころ、その深いお話しをお伺いし、助産師の魅力と責任の重さを改めて実感しました。
- ・ 実際の体験を通して話してくださり、感動しました。
- ・ 賀久先生の助産師理念とそのたどられた道を通じ仕事をする上での精神的な心構えの大切さがわかりました。
- ・ 大学卒業後2年間総合病院で勤務しただけの私にとって先生のお話しはとても感銘深いものでした。先生の暖かいお人柄、助産師としての姿勢憧れます。3日目の演習を受講できないのが残念です。
- ・ 助産師として、心構えを学んだ。初心にかえり、再出発するファイトがわく、感動した。
- ・ 大変温かいお話しで、助産師の心、精神を感じながら聞きました。病院の出産とは違う助産院での役割を深く理解できた。人間性が大切だと思う。
- ・ 先生のハートが伝わりました。先生を目標にがんばりたいと思います。
- ・ 離れていたことゆえに目新しく感じた。
- ・ とても興味ある楽しいお話でした。興味深い内容でした。助産師としてでなく、人として大切なことを教えていただいたように思います。

- ・ 一度先生のお話を伺いとおもっていました。お母さんの心を育てれば自分で産むといわれていましたが、本当にその通りだと思いました。そしてそれがその後の子育てに繋がっていくんだなと思います。またお産にたち合わせてもらいたくなりました。
- ・ 現在、助産師という仕事を離れてみて、助産師の仕事が好きなんだなあと改めて痛感しましたが、賀久先生のお話を聴き、助産師の仕事の大きさ、奥深さを考えさせられました。
- ・ 久しぶりに賀久先生の“凛”としたお姿を拝見し、お話を聞く事ができ、自分はまだまだ未熟だなあと感じました。
- ・ 「お産は生き方を学ぶもの」といわれていましたが、その通りなんだろうとは思いますが、まだ私にはわからないなあと感じ、助産師としての今までの自分のあり方を反省しました。勘を養えるよう経験を積みたいたいです。
- ・ 先生の熱心で穏やかな顔の表情をみていると、本当に私達助産師の職は天職、聖職なんだ、素晴らしい仕事なんだとあらためて思いました。先生の助産所を尋ねたいです。
- ・ 助産師は人生の道案内者だと、また理念があるかが大切であること、強く心に残っています。また原始感覚をみがくということも助産師の仕事が本当に崇高なものであることを感じました。多くの学びがありましたが、自分なりの理想の助産師像をもち底辺での活動ができればと思いました。
- ・ 私達の仕事はやっぱりすばらしいと思った。あこがれの人に出会えました。
- ・ 先生のお人柄が伝わってくる内容だった。助産師の活動範囲の広さ、重要さを改めて感じた。先生の本を購入し家で読み感動した。
- ・ 賀久先生のことは今回はじめて詳しくしることができて、とても感動しました。自分が助産師を目指した時の気持ちがよみがえり涙が出てきてしまいました。助産師という仕事、役割の素晴らしさを再確認できたように思います。
- ・ 地域での開業は色々可能性がありとてもやりがいがある仕事ですね。夢がふくらんできました。
- ・ 助産師として人間として大先輩という方でとても含みのあるお話で感動したり納得したりと大変心に残りました。

③ 母乳と親子関係

- ・ 乳幼児の記憶についてお話を聞き、改めて早期からの対応の大切さを思いました。
- ・ 先生の深い知識と熱い想いが伝わってきました。半年から1年程母乳育児の勉強をしておらず学習意欲が触発されました。
- ・ 調査に基づいた内容も含まれてかつ平易な言葉で腑に落ちました。
- ・ お話がとても高度な内容、しかも早口で、だけど親父ギャグもふんだんに入りとてもあつという間の楽しい話だった。
- ・ 楽しいお話がたくさんで、医師の中にも母乳や母子のことをこんなにも考えてくださる先生いらっしやるのだなあと感激しました。
- ・ 母乳栄養の継続は妊娠期にどんな医療スタッフに出会うかが決めてであり、それは子どもの一生を左右する大切なことであると思った。
- ・ 母乳との親子関係の中で今まで当たり前と思っていたことが実は正しいとはいえないということがいくつかあった。
- ・ カンガルーケアを取り組んでいると母子をとりまく家族や環境にすごくよい影響を与えていき、スタートラインにたった子どもにとり、よいことだと思った。業務優先させていたことに自分自身がっかりした。
- ・ 先生の考え方に同感したため。
- ・ 母親がよく質問する事など、答えやすくなりました。(例：おしゃぶりなど) 母乳哺育学会出席のも会場を探していると「僕も会員です。そこを曲がって〇〇ビルの11階です」と親切に教えて下さり親しみやすく聞かせていただきました。
- ・ 赤ちゃんは十分な能力と力を持って生まれてくるのに受容する親とマザーリングに左右される。このマザーリングを私達助産師が如何に援助していくのが重要課題。
- ・ 出産期、周産期に体験したことが次世代の子育ての時に影響するらしいのでそのときにその人にかかわった助産師の責任は大きいと思う。(その他今までしらなかった興味深い話が聞けた)
- ・ 実際の統計など分かり易く楽しく聞く事ができ、是非参考にさせていただきたいと思います。
- ・ 現場の話、これからの小児科の方向など聞く事ができて面白い講義でした。
- ・ 退院後の危機、産後2週間に訪れる事、お母さんの気持ちの変化を伴うこと。
- ・ カンガルーケアの重要性、母乳を介した母子関係のありかたを興味深く学事ができました。

- ・ 今現在、未熟児室勤務をしています。母乳の大切さを軽んじている風潮に私も流されていました。そのことに気づかされました。また未熟児室でも出産後のカンガルーケアできるということを知りませんでした。また間違った指導をしていることも知り、勉強になりました。
- ・ 人間関係が複雑だが面白い楽しい内容だった。
- ・ ベビーと母乳のつながりを改めて深く考えることができました。カンガルーケアの必要性を理解できました。
- ・ たくさんの研究データをもとに母乳やナラティブ、コミュニケーションの重要性がわかりました。
- ・ わかっていることが、多かった。退屈なところもあった。理論的、おもしろいところもあった。知らないことトピックスもあった。
- ・ 母乳、赤ちゃん側だけでなく、母親側からみた利点も見直せました。
- ・ 母乳栄養の意味、指導方法についてよく理解できました。新しい発見が多くありました。ユーモアもあり楽しく聞けました。
- ・ 母乳育児を含めた母子育児支援のあり方を学習する機会になりました。
- ・ 親と子の絆について科学的根拠も踏まえて学べた。援助する際、伝え実行したいと思う。新しい講義でした。
- ・ ユーモアを交えた楽しい講義でした。カンガルーケア、母乳の大切さを改めて感じた。
- ・ 先生のような母乳に理解のある医師が増えたらいいなあと思います。改めて母乳のよさを学びました。
- ・ とても面白く興味深かったです。赤ちゃんの持っているすごい力をあらためて感じる事がきたし、施設で働いていた頃の自分をおもいだし、考えさせられるものがありました。もっともっと色々な話を聞きたかったです。
- ・ 「母乳だけでいい。体重は1ヵ月健診でもとにもどればいいんだ」という言葉を力強く思いました。いつもは“母乳だけでいいのに・・・待っていればちゃんと出るのに”と書いていても小児科医師から体重10%減したらミルク追加とあっさり指標が出されていたから。
- ・ 母子の絆の大切さがよくわかりました。カンガルーケア2時間、自分でも体験してみたいです。
- ・ ジョークと風刺のきいたてんぼあるお話しでした。母乳育児の“定説”に対する鋭い指摘を保健所の人にも聞かせたかった。
- ・ お母さんと赤ちゃんとの間柄はとても神秘的だと感じました。またカンガルーケアについても多くの学びがあり、感動でいっぱいでした。助産師として何ができるのか考えるきっかけとなりました。
- ・ まず、本当に子どもが好きな先生であることを当たり前だ感じた。産科と小児科医師がなぜか仲良くない当院。こんな先生がいてくれたらと思う。
- ・ たくさんのことを教えていただきましたが、赤ちゃんは多くの能力をもっていること、生後2ヵ月の赤ちゃんが夜寝ないことも、腑に落ちた分かり方をすると納得できること、自分の出産経験を振り返っても納得できる話も多く興味深く話をききました。指導、管理といったかたちでなく母子が安心して向き合える環境づくり（枠組み）をつくる努力の大切さを学びました。
- ・ 母乳育児のよさをあらためて実感でき、新鮮に話を聞く事ができた。
- ・ わかりやすくユーモアを交えたお話しに時間があっという間に過ぎた。やさしい眼差しで児を見られている姿勢に心が温かくなるようだった。
- ・ 小児科医師という立場からの母乳、カンガルーケアの大切さ、母子の心理面の研究結果など興味深いお話でもっともっとお話を聞きたいという気持ちでした。業務に流されていた現役時代を振り返り反省させられる面もありました。
- ・ 母乳の大切さを再認識できました。まだまだ小児科医で母乳に理解のある方は少ないですね。先生の活躍を期待しています。
- ・ 講演を聞きながら自分自身が出産した時々のことを思い出しました。子どもがいる今だからこそ、先生の話の内容や言葉一つ一つがとてもよく理解できその通りと感じる事ができるのだと思います。

④ 最近の産科管理

- ・ 臨床から離れると産科的な基礎的な理解には自信がありませんでした。先生のお話は非常にわかりやすく臨床を思いだし、身近に感じる事ができました。
- ・ 知識の補足、確認、学習ができてよかったです。
- ・ 復習ができました。またあらたに今日では死語になっている言葉や考えを知りました。
- ・ 盛りだくさんのお話学生時代を思い出しました。インフォームドコンセントの大切さ話し方の技術獲得も必要だと思いました。
- ・ インフォームドコンセントの重要性がよくわかった。モニターの読み方など基本的な部分の復習になった。

- ・ モニターの読み方がわかりやすかった。
- ・ 久しく産科業務を離れていて、すごく自分だけ取り残された気分になっていたが、情報を提供していただいて知識を改めて情報収集ができた。
- ・ 産科より離れて久しぶりの内容に臨床もいいなと思いました。
- ・ 最近使用しない言葉なども勉強になりました。
- ・ 多様化した出産文化に応えられる助産師は少ない。出産する本人が選ぶ時代になってきたように思う。破水も適時破水がなくなったと聞いて勉強不足で取り残された感じ。
- ・ 若い頃、勤務していた頃の時の記憶がよみがえってきて懐かしい思いがした。また昔と今の違いも分かり易く話してもらいました。
- ・ 現場ですぐに使える、必要なものばかりで現状がよくわかり参考になります。
- ・ 最新の医療現場の話、情報が聞けて興味が深まった。
- ・ 最近の医療を知る事ができた。リスクを説明し、同意を得ることの重要性の再確認。
- ・ インフォームドコンセントの重要性、自分を守方法など改めて学べました。またMCのポイントも考え直すことを学べた。
- ・ 話しの内容がおもしろかったです。総合病院で助産師として働いていた時期が長かったので、気持ち的には一番理解しやすかったです。
- ・ 勤務していた頃と変らない情報だったので。
- ・ インフォームドコンセント、NSTの読み方などわかりやすかったです。特に説明（インフォームドコンセント）は年々とても大事にしていかなければならない現状がよくわかりました。
- ・ インフォームドコンセントの重要性がよくわかった。
- ・ 新しいトピックスがあった。NSTの再確認ができた。現代の傾向がわかった。
- ・ 産科医の立場、医者という立場での話しで臨牀的に為になるとはおもいますが、あまり共感できませんでした。
- ・ 最近の産科がわかってよかったです。
- ・ 医療機関の産科医の先生から現状を聞く機会は貴重でした。
- ・ 最近の医療について忘れていた事が多く、良い勉強になりました。
- ・ 最近の産科管理がコンパクトに分かりやすくすることができました。
- ・ 医療の側面から重要ポイントを学んだ。現状を踏まえた内容でよかったです。
- ・ 助産師の職を離れて3年経つが、その間で変化した事が多くあり今後勉強し直さなければならないと危機感を覚えた。また復習にもなった。
- ・ 最近の産科でのインフォームドコンセントの重要さがとてもよくわかりました。やっぱりお産は怖いなあと思ってしまいました。
- ・ 離れていたことゆえに目新しく感じた。
- ・ 知識を呼び起こしながら聞く事ができました。現状も知ることができたためになりました。
- ・ 内容的にはやはり総合病院の産科はどこも同じような感じなのだなと思いましたが、それはそれで総合病院の役割なのだなと思いました。異常や救急が多いため医師が主体のお産となり、正常なお産も様々な医療がほどこされてしまうのはどうにかならないかと思いますが。
- ・ 医師や病院でのよいお産と、助産師の考えるよいお産のギャップがわかった。久しぶりにお産の基本（教科書）的なことを振り返ることができた。
- ・ 産科の基本となる指針について久しぶりに改めて勉強しなおすことができました。
- ・ 振り返ることで、改めて勉強しなおさなければと感じました。基本をしっかり理解し、知識を高めていきたいです。
- ・ 「安全なお産」と「性適なお産」が求められていること。時代の流れ、インフォームドコンセントの重要性、よくわかりました。佐藤先生もまた親しみやすい先生だと思った。
- ・ なにをもってよいお産とするのか。安全に加え「快適さ」を念頭においた管理が求められていること。産科管理においては大きく変わったことは少ないが説明と同意が重要視されていることを改めて学びました。
- ・ やはり管理が必要な妊産婦さんもあるわけだから最先端も知った上でニーズにあった関わりをお母さんたちと一緒に選択していけたらいいなと思った。
- ・ 求めていたことが得られたような内容だった。難しい内容を分かり易く教えていただいた。
- ・ 現在では使われていない用語や気をつけなければならない産科管理上の注意点などを詳しく教えていただき、とてもためになりました。産科医が助産師に期待していることもよく把握できたように思います。

- ・産科医療の基本は大きく変わる事はないことが再確認でき安心しました。ICのこともとても参考になりました。
- ・現在はインフォームドコンセントと訴訟ということを常に頭に入れて医療に取り組み、新しい知識や技術を吸収しながら多様化するニーズに対応しなければならないと思いました。

⑥ 新生児の観察のポイント 助産所業務ガイドラインについて

- ・実例をまじえてのお話でひきこまれながら聞き入ってしまいました。
- ・写真のスライドがわかりやすかった。助産師の扱う正常なbabyについての観察ポイントをもっと聞きたかったです。(未熟児や稀なケースの話も多かった)
- ・患者さんに対して、まず人として愛があってその上に医療があるという先生の人格の素晴らしさに感動しました。知識とご経験も大変豊富で上田先生の講義が聴けて本当によかったです。
- ・アプガールスコア採点など基本的でありかつ重要性を再確認、初心に戻ることが必要と思いました。また観察眼が養われる事が大切。
- ・とても愛情ある小児科医の先生でとてもお話を聞けて嬉しく感じた。
- ・自分の新生児岳についての知識の振り返りとなりよかったです。様々な患者のスライドが見られてよかったです。
- ・緊急時の対応、視点がわかった。
- ・すごい熱く語っており、わかりやすく写真でみてわかりやすかった。
- ・先生の子どもとその家族に対する強い愛情を感じました。これまで出会ってきた障害児のご家族が重なり初めからフォローと地域への連携を強く感じました。
- ・これまで経験しなかった症例や観察ポイントが聞けて大変勉強になりました。SIDSが恐ろしくて夜眠れない母親の相談にも十分答えてあげられると思います。ハッピー。カンガルーケア大好き。
- ・写真による説明と要点を押さえた分かり易い説明でとても分かり易く、長時間だったけれど話し方も面白くあっという間でした。
- ・スライドで分かり易く観察ポイントがはっきりわかりました。是非役に立てたいと思います。
- ・小児科医師の求める助産師の姿がわかりました。簡単に考えていたアプガールスコアや吸引の手技など考え直すことが多かった。
- ・異常の早期発見と、いのちを預かっている仕事に関わっているという責任というものの重さを感じた。先生の人柄、温かさを感じる事ができ、このような先生もいらっしやるんだなあとうれしくなりました。
- ・助産師として異常児の観察ポイント、特性をわかりやすく学べ、具体的にどうすればよいのか知る事ができました。
- ・新生児医師との連携の大切さ、よくわかりました。様々な新生児のお話に感動しました。
- ・生まれた時の病気や対応について、たくさん事が学べました。もっと学習したいと感じました。心のこもったケアの伴う治療には感動しました。
- ・元気があって、知らないこと多く学べた。わかりやすい、面白い内容がよい。
- ・死を迎える医師としての生死観がうかがえた。
- ・非常に勉強になりましたし、先生の姿勢に感動しました。
- ・とても解りやすく熱意が伝わってきて感激しました。観察のポイントもよくわかりました。またお話を聞きたいと思います。原因と結果を忘れないでいようと思います。
- ・出合ったことのない症例も数多く紹介され、大変勉強になった。人情味あふれる日々の診療内容に感動しました。
- ・新生児の観察のポイントをとってもわかりやすく私見を含めて教えて頂きました。
- ・勉強になり感動も頂ましたが、その反面、現場で働いていけるのかやはり不安になりました。
- ・多くの症例から観察ポイントを学びわかりやすかった。親の立場からの思いも知り、深い愛情を知った。助産師として観察の目、判断の重要性を学びとれた。
- ・つい感覚としてつけてしまうアプガールスコアの重要性が理解できたし、観察しどう伝えるのかもベビーの今後に深くかかわるのだと思った。色々な症例を紹介してくれながら、分かり易い説明でとても満足した。
- ・新生児を観るにあたっての妊娠期から新生児、胎盤など疾患や状態のポイントや関連性がわかりやすくとってもよかったです。とても役に立つ内容でした。
- ・思い出す事ができた。
- ・素晴らしい心に残る講義でした。観察のポイントもわかりやすくて、今更ながらに納得した事も沢山ありました。貴重な贅沢な講義でした。

- ・次から生まれた赤ちゃんを見る目が変りそうです。きちんと最初に観察しておくことが大切という基本がいかに大切か改めて肝に銘じておかねばと思いました。
- ・アプガールスコアの大切さを改めて実感しました。また、観察のポイントをすごくわかりやすく、講義していただいて、今後産科の臨床にもどれたら、是非役立てたいと思いました。またアプガールスコアを声にだして言ってみます。
- ・多くのことを考えさせていただく事ができたと思います。また新生児に対する知識を得る事ができ、助産師としてお母さんも赤ちゃんも一緒にケアできるようになりたいと感じました。
- ・観察のポイント、本当にわかりやすかったとも思います。アプガールスコアの話は勤務している時に是非聞きたかったと思います。正しい評価など信頼を置いてもらえるような日々の努力が必要なのだと思います。
- ・とても興味深く、また先生の熱いハートに感動した。今後の赤ちゃんや子ども達を観察する時にきちんと参考にしていきたい。
- ・とてもわかりやすく臨床への希望と勇気が感じられました。
- ・新生児の観察のポイントをわかりやすく事例を通して話され大変わかりやすくまた体験談に感動し涙がでた。
- ・一言でいうととてもわかりやすかったです。アプガールスコアの採点の仕方をこんなに詳しくおそわったことは今までになかったように思います。必ず実践したいと思いました。様々な症例について詳しく説明していただき、潜在助産師で得をした気分でした。
- ・異常児をみる経験がすくなかったのでとても勉強になりました。搬送時の情報提供がいかに大切か今までを振り返って反省しました。
- ・医療従事者は分娩前後の一時期しか接することがないが、児とその家族にとってはそれは人生のスタートラインであり、特に普通でない児とその家族にはその接し方一つで大きく人生を変えてしまうことがあるとひしひしと感じました。

⑦ 助産師と産科医の連携

- ・これから助産師として活動していく上での心構えができました。課題が多すぎてここでしり込みしております。でも出来る限り出産にかかわっていこうとしている気持ちになりました。胎児記憶の話を少しでも聞きたかったです。
- ・助産師の役割の幅広い内容を知った。
- ・体内記憶以外のお話だったがそれぞれの言葉を教えてくださった。自分のところ以外のことを実は知らない当たり前のことを知らされた。
- ・助産師と産科医との連携の難しさと重要性について学べた。
- ・わかりやすく助産師への理解がありどうしたらよいかというところが見えたので。
- ・産科医との連携においてどういうことが重要化が具体的でわかりやすかった。こういう先生のいらっしやるところで働いてみたい。
- ・このような医師のところでも働けたら助産業務もやり易いだろうなと思った。
- ・自分の地元ではクリニックに助産師がいないのが常となっている中、クリニックこそ助産師が必要なんだと強く感じました。
- ・こんな理解ある医師と一度働いてみたかった。
- ・産科医のみでなく、小児科医とも連携が大切と思う周産期紹介システムは病院関係のみでなく助産院をも含め勉強会を深め早く連携できる日を願っている。
- ・助産院と診療所の連携が上手くいっているケースの話聞き、そのノウハウがよくわかった。
- ・病院勤務のみで助産所については学生の時の実習だけでした。実際にわかりやすく両側面からみられてよかった。
- ・助産所開業の方には大変参考になる講義だったと思います。
- ・正しい知識を常に勉強する。
- ・助産院、病院の連携の取り方、心構えの大切さを学ぶことができました。またお母さん達が主体的になるための助産師のあり方を気づかされとても興味深く学べました。
- ・医師との信頼関係を築くために努力していかなければと思いました。
- ・もっと勉強し、知識を深め学習会に積極的に参加していこうと感じました。今後自分が産む時の参考になりました。
- ・ためになった。がんばらないと、いけないと思った。助産師の必要性を感じた。
- ・前の観察ポイントと同じです。

- ・ 助産師をエキスパートとして認めて仕事をされていることを命に携わるものが心を感じる事ができた。
- ・ 病院での仕事しか経験がないので助産院と医師との相互関係について知ることができました。
- ・ 医療との連携の必要性とそのため土台となる信頼関係の構築に大切なことを学ことができ勉強になった。
- ・ 頑張っている助産師さんのことを知り、力をもらいました。また助産師としてどうないといけないのか勉強になりました。
- ・ お互いの立場を理解して、連携してやっていく大切なことを知れました。
- ・ 助産院で将来お産に関わりたいと思っていたが、いろいろな面でとても苦難の道となってしまう、よほどの知識、技術、人間性を必要とされることであると痛いほど感じた。
- ・ 時間的に厳しいかと思いますが、せっかく池川先生なので体内記憶の話をもう少し聞きたかった。
- ・ 助産院と医療機関（医師）との連携のためにまず助産師が何をしていたらいいかということを知ることができました。とてもよいお話でした。
- ・ 現場での話しなど興味深く聞いた。
- ・ 助産師としてどうあるべきか、気持ちの持ち方など考えさせられる部分がたくさんありました。
- ・ 助産師として医師と協力して、お母さんが満足できるお産に立ち会っていくことができるのが理想なのかなと思いました。お産の主役はお母さんと赤ちゃんなので、そのことを皆が考え歩み寄っていかないといいなと思いました。
- ・ 医師との信頼関係が大切だと思いました。現在総合病院にいますが、地域の診療所の医師や助産師と話す場がほしいと思いました。地域間の連携も大切だと思いました。
- ・ 池川先生のような意思が増えてくれると医療界も変わるのではないかと思います。また、医師が悪いと批判ばかりしては何も始まらないと感じ、自立し自分のやりたいことを信念をもって助産をしたいと思いました。
- ・ 助産師としてのいろいろを話していただいた中であらためて助産師の仕事は誇りある仕事だとも思いました。産科医の信頼のための努力、人間関係づくり、本当に勉強になりました。
- ・ こんなふうに理解ある医師もいらっしゃるのだと期待がもてた。助産師が陥り易い盲点や欠点も具体的にわかり反省もでき、勉強になった。
- ・ 連携に関して大切なことが再認識できた。また池川先生のような医師がいらっしゃったことを知り、うれしく思いました。
- ・ 助産院、助産師に対する理解の深さに素晴らしいなと思った。内容もわかりやすかった。
- ・ 産科医と助産師の連携の重要性を改めて痛感しました。お互いに助け合い、同じ方向を向いていなければよりよいお産は存在しないということ。またそれぞれが努力して、レベルアップをしていく必要性を確認できたと思います。
- ・ 助産師に理解がある先生と出会えて嬉しく思います。私も責任とプライドを持って楽しく仕事ができればと思います。クリニックに対する考えが変りました。
- ・ 助産師として信頼を得るといふ事が何よりも大切でそのためにも日々努力して自分を磨く必要があると改めて実感しました。

⑧ 今後の活動についてディスカッション

- ・ 複数の方のお話が聞けて、みなさんがこれからの母子保健をよりよいものにしていこうとかがえていらっしゃることに頼もしさを覚えました。助産師の知り合いができて嬉しかったです。内容的には診療所に助産師が勤めることで、有資格者の確保は少しは上がるけれどそこでの課題も山積みしている現状も改めて認識できた。開業権を持っていながらも開業する以前のスキル面の壁や家庭と仕事の両立の壁があり、その先に進めない現状があるとわかった。
- ・ 助産師数が減っていると聞いていました。実態がよくわかりました。
- ・ 近くにいる何人かの人と話をし、今自分のことを考えていく時間をもらえた。背中を押してもらえた講義でした。
- ・ 普段話す機会がない様々な考え方とディスカッションができてよかった。
- ・ 色々な方と話ができてよかったです。
- ・ 色々なバックグラウンドを持つ人たちとのディスカッションができ今後の自分の方向性についても考えることができた。
- ・ ディスカッションの時間がもう少しあればよかった。

- ・ 助産師の離職の理由は様々ですが、助産だけでなく助産師を求めている場所は多くあると強く思います。助産師の知識があるからこそ、地域の母子のサポートは保健師よりできると思えました。
- ・ 子育て中の皆さんが本来の仕事に皆感心が大きいのには驚きました。（自分の子育て中には仕事を忘れていたのに）
- ・ 問題は人間関係で悩む人が多いこと。主義主張が医師ばかりでなく、助産師も伝え話し合えないものか。働きたいのに医師に抑えられてばかりでは進歩しないと考えます。
- ・ 抱えているバックグラウンドは違うけど皆さんの助産師活動への熱い思いが聞けて私もエネルギーを頂いた。また診療所の抱える問題も聞けて参考になった。
- ・ 同じ研修を受けている方のバックグラウンドが見えてよかった。それぞれの求める職場、お産の形が見えてよかった。
- ・ 助産師が地域でもっと活躍すべき。診療所でのお産の現状をもっと助産師が知るべき。診療所での助産師の活動が必要とされていることを知りました。
- ・ 参加された皆さんのお話しが聞けてよかったです。自分の今後についても考えることができました。
- ・ 自分の生活、モチベーションに合った職場を捜すことは非常に困難であると痛感していました。今回のお話しでそれが見つけられるのではと感じました。
- ・ 他の人の意見が聞けてよかった。
- ・ 社会での認識や必要性を迫及することの難しさを感じました。
- ・ 最後のまとめに時間がたりなかったのが残念でした。
- ・ 自分の事だけに目をむけていましたが、多くの意見が聞けて視野が広がった気がします。
- ・ 今後の活動にあたって、他の方々との話し合いを通し参考になる部分が多くあり、考えるヒントを与えられました。
- ・ 知らない人たちの中で全く話す機会がなかったらやはり淋しい思いのまま帰ったと思いましたが、発言の場をいただき隣の人と関わりをもってよかったです。
- ・ 今後自分の活動に際して、仲間の方の考えや、情報を知りもう一度再出発するきっかけを作れました。この2日間、とても大切なことを得た事に感謝しています。ありがとうございます。今後も研修に積極的に参加して行きたいと思います。
- ・ なぜ働けないのか、皆の意見が聞けて大変よかった。皆の意見を聴きながら大変納得。漠然と感じていた事が言葉になったと思う。
- ・ 結局なかなか変わらない現状に悶々とした思いだけが残ってしまった。助産師バンクに期待します。
- ・ いろんな方の意見が聴けてよかった。理想とする助産など目指すものが近くとても嬉しく思った。
- ・ 時間的に短くただ声を挙げたというという点だけ。残念だった。
- ・ 助産師の数がそんなに少ないとはしりませんでした。ディスカッションを通して他の参加者とも交流もって有意義な時間を持つ事ができました。他の人の感じている現状、問題点を知る事ができました。
- ・ 皆さんとお話することで皆産婦さんによいお産をしてほしいという思いがあること、その思いをどう形にしていくか皆悩んでいるんだということがわかりました。
- ・ 沢山の人の意見が聞けたのでよかった。また、自分が何をやりたいのか、どうしていききたいのかを見直すきっかけになりました。
- ・ 色々な方の話を聞くことができ、皆さんそれぞれ不安や悩みを抱えている事がわかり、自分だけではないんだと感じ安心しました。他力本願ではなく自分が動き出すことが大事だと改めて感じました。助産師として早く働きたいです。
- ・ いろいろな背景をもつ方と話すことで現状課題がみえましたし、何よりも自分にも何かしら活躍できるのではないかと希望の光が見えたようにおもいました。もう一度やり直したい、学びたいと強く思いました。
- ・ もう少し時間があればよかった。もっと他の先輩方とも話してみたかった。
- ・ 今後の活動について話をすることで、共感したり、気づきがありよかったです。
- ・ ディスカッションが中心だったが時間が足りなかった。
- ・ ディスカッションするにはあまりにも時間が短すぎたように思います。また診療所の医師がはたして助産師を数多く必要としているか受け入れる体制があるのかが疑問に残るところで、まだまだ経験だけでものを持っている准看護師の存在に押されている現状は変わらないと思います。
- ・ 仕事をしたい思いと現実の生活の間で悩んでいたことを共有できとても有意義でした。ただ信頼されるために仕事に対する責任は重たいなと改めて思いました。
- ・ 病院勤務しか知らない私にとって、他の勤務先の様子を聞く事ができいろいろ考えさせられました。

⑨ 妊産褥婦の指導

- ・ 助産師教育の概念を振り返ることができ、今の自分の出発地点であった学生時代を思い出し、またその課題も見えて視野を広げることができてよかった。
- ・ 「指導」ということばに疑念を持ちつつ、妊産婦さんにあっています。懐にくいつく、染み入る感性を持ちたいと思います。
- ・ 相手のニーズを知り、自分の指導を強要してはいけないとあらためて感じた。
- ・ 指導を考え直すきっかけとなりました。
- ・ 指導とは・・・個別に指導しないと“押し付け”になると思います。改めて考えさせられました。
- ・ 勘を養う部分。知識や経験を通して自分達の日常には勘が働いて動く部分が多々あるので同感です。
- ・ 学生のみでなく働く助産師は時代背景をみながら基本を踏まえながら感性を養う事が大切だと思います。
- ・ 保健指導の最近の考え方や、観察技術のトレーニングから“感”がついてくるなど・・・。一方的な指導でなく全人的なケアをやる事が大切など役に立ちました。
- ・ その場、その場にあった指導も必要だが、全体的広範囲に見ていかないと生きた指導はできないと思った。
- ・ 助産師教育の内容がきけた。自分達の時のカリキュラムの違いで驚いた
- ・ 個々の妊婦・産婦・褥婦さんの対応の大切さ、指導とは相手に向き合うときの自分、あり方、五感をはたらかせる。時代や世の中の流れに沿った指導の大切さ。
- ・ 久しぶり先生のお話がきけて学生時代に戻ったようでした。指導の難しさは日々臨床でひしひしと感じましたが相手が本当に必要とすることを診断から導き出して、それを指導することがいかに大切か、押し付けない、高慢でない、謙虚な姿勢で指導にのぞみたいと思いました。
- ・ 診断についてやはりもう少しわしく勉強したかった。ブランクの長い者にとってはそれを埋めるようなお話を聞きたいです。
- ・ 「出張助産師」の活動に大変興味があり、参加できればと考えています。詳しく教えていただければ嬉しく思います。
- ・ 時代背景をみながら相手をみながら保健指導を行なう仕事をやる中で大切なことだと改めて感じた。
- ・ 教育課程の変化とともに私にもとめられるケアも変わってきていることがよく認識できました。
- ・ コミュニケーション技術の大事さを感じました。
- ・ 時代、社会の流の中で、保健指導が変わってきていることを知り、指導のあり方を再考できる機会になりました。
- ・ もう少し具体的な内容について知りたかった。
- ・ 一方的な指導にならないようにすることは大切なことだし、指導能力、技術を身につけることも大事だと思う。講義の内容の意図が汲み取りづらかった。
- ・ 今何が必要なのか自らに問うための指針となった。
- ・ 先生の講義を久しぶりに聞く事ができて嬉しかったです。「指導とは何か」ということをもう一度振り返ってみたいと思います。講義の中に学生との関わりも含まれていて、今の私にはとても参考になりました。
- ・ 指導する基本姿勢を考えさせられました。押し付けでない指導、その人に合った指導をしていかなければならないと思いました。
- ・ 現在産科分野でない臨床にいますが、指導する場面があり、どうしてもマニュアル通りの指導になってしまいがちでした。先生のお話を聞き、指導に関する視点や方法をもう一度見直して行きたいと思いました。
- ・ 助産師学校のときに学んだ“指導方法”とは違った診断に基づく適切な指導のあり方とはどういうものか考え観察力が大切なことなどわかりやすく教えてもらいました。
- ・ 学生時代を思い出し改めて助産師としての知識を高め経験していくことが大事だと感じました。自分の考えはしっかり持つことは大事ですが、多様化したお母さん達の考えを受け入れられる柔軟な考えを持ちたいです。
- ・ 指導のありかた、観察技術、相手とのコミュニケーション技術、自分自身のトレーニングの必要性などよくわかった。
- ・ 求められるニーズに対応した指導のため、考え方を丁寧に教えていただきました。
- ・ 保健指導の大事なこと改めて考える機会になった。「話さなければならないこと」「知っておいてほしいこと」を相手に伝えるのではなく、まずは相手の必要なサインに気づいてそこから話していくようにできたらと思う。
- ・ 新しい指導についての視点を教えていただき、気持ちがひきしまる思いでした。

- ・ 指導とは何か、トップダウンの指導にならないためにはどう考えなければいけないかよく理解できた。
- ・ 自分が助産学生だった時のことを思い出し、自分のことを言われているような気分が恥ずかしくなりました。その後の経験があって、自分もずいぶん観察の視点が変わってきたような気がします。相手が何を求めているのかを察し、満足してもらえるような関わりができる真の助産師を目指したいです。
- ・ 学生の時の授業を思いだしてもう一度原点に立ち返って考えてみる必要があることに気づきました。
- ・ 人を指導する前に、自分自身の感性を育て、観察技術を向上させそして私自身、相手とよい関係を作る努力をしてからしてできることではないと改めて思いました。

⑩ 妊産褥婦の指導：演習

- ・ 先生の心に響くお話はよかった。演習時間がもっとあれば（実践に直接結びつくので）ありがたかったと思う。
- ・ 今回のお話を聞き病院の勤務が嫌になりました。理にかなった話が聞けてよかったです。ありがとうございました。
- ・ 形にとらわれない、要するに何か！ということを考えて、理にかなっていることを伝えていきたい。先生これからも前に進んで行きたいと思いますのでよろしくご指導ください。
- ・ 毎回感動させられている。妊娠、出産を経験していないため自分が是非賀久先生のところで出産してみたいと強く感じた。
- ・ わかりやすく楽しく過ごせました。助産師としてでなく、女性として先生のところで出産できたらいいなあと思いました。
- ・ 前回引き続き賀久先生の魅力に惹かれました。
- ・ 先生の話で毎回涙がこみ上げる感動がありました。お産のすばらしさ、性教育に是非取り入れていかないといけないですね。
- ・ 分娩はひたすら待つことの大切さをあらためて感じました。
- ・ 先生の話をお聞いているとお産が楽しみになる母親が多いのではないのでしょうか。守られて何があっても救ってくれる気持ちになります、先生のような助産師になりたかった。これから励みたい。
- ・ やわらかいものごし、口調でゆっくり話されこちらが癒される思いでした。先生の大きな人間性に触れ助産師の本来あるべき姿を先生の中に見ました。
- ・ 実際のケアを日常の中でやっていく知恵を教えてください。
- ・ ありがとうございました。感謝です。
- ・ 一日目と続き、助産師のあり方を学べて楽しかったです。
- ・ 一日目に加えて、先生のお話を2回も聞いて感謝です。たくさんのことをまなびましたし、勉強になりました。書ききれませんが、一つここに書くとしたら、本当に強く心から子どもを産みたいと思いました。
- ・ 賀久先生は本当に人を変える力があるのですね。私も変わってきています。整体は毎日実践し対象にも伝えられるようにしようとおもいます。
- ・ 話が重みがある。人間の器が違う。
- ・ 長い経験談を聞いてよかったと思った。
- ・ 人を看る、診る、感じる能力の素晴らしさを感じた。
- ・ 先生のお産を見学してみたいと思いました。
- ・ 演習とあったので時間配分を考えて机の配置を含めそこに時間をかけてほしかった。
- ・ 先生のいろいろなお産のお話を聴いてやはり助産師っていいな、お産ていいなあと思いました。また実演での調整や体操などもとても役にたちそうです。今日からやってみたいと思います。
- ・ 高山病で（自分では気づいていない状況）O₂吸引をした時のような気分になれた。
- ・ 先生がどのように妊婦さんとかかわっておられるのか、見せていただきたいと思いました。より自然なかかわりの中で、素晴らしいお産へ導いていらっしゃるのだろうなと感じました。
- ・ 妊産褥さんを指導するためには、先ず自分が人間として自立しなければならないと思いました。先生の存在感すごいと思います。
- ・ 先生の実体験を交え、家族や妊産褥婦、胎児、新生児のかかわり方を学びました。
- ・ 「お産は生き方であり、過去の清算である」自分も2回の出産経験をあてはめてみてもまさにその通りでお産を通して、自分自身を振り返ることが多かったと思います。陰陽の食事について勉強してみたくなりました。

- ・ 実際お母さんと一対一の関係を経験し勉強させてもらっているという考えで人間関係を構築していることが必要なんだと考えました。自分を磨くこと、自分自身で体験した事、特に知識、技術を存分に使えるように努力したいです。
- ・ 「お産は生き方、過去の清算」この言葉はすごく身に沁みだ。自分自身が助産師としてまた自分の妊娠出産のときどうだったか、反省、考えさせられた。
- ・ 教科書にないとてもたくさんの話をしていただきました。先生のお話は心を感じ本当に感謝いたします。
- ・ とても幸せな時間だった。心が洗われました。
- ・ 先生のお人柄あたたかさが伝わってきて私もお産にかかわりたいという気持ちがありました。
- ・ おはなしをききながら妊娠5ヵ月の子どもに是非聞かせたいとおもった。先生の本を今日届けようと思った。心が温かくなった。
- ・ 助産師としての完成をみがき本物は何かを見極めるちからをつけることがとても大事だということを教えられたと思います。これまでの自分をみつめ直すよい機会を与えてくださったことに感謝しています。4人目があるとしたらむななかた助産院で産みたいです。
- ・ 助産師である前にひとりの妊娠を望む女性の立場で聞いていました。もう一度自分を振り返り身体によく聞いて不妊と戦う元気をもらえました。
- ・ 妊娠出産は医療の介入が少ない太古の時代から行なわれていた自然な営みであり、人生経験の豊かな先生のお話を聞く事ができありがたかったです。

⑩ 妊産婦の多様なニーズに対応するケア

- ・ とても楽しかったです。
- ・ スピリチュアルな観点から産科医療、育児、助産のあり方を教えていただいてとてもよかったです。
- ・ ブレイクスルー現象、チャレンジパーソンの考え方を学びました。自分の人生を振り返り、また今後の生き方にプラスになりました。
- ・ 人生観からやり外、縁、人の出会いすべて三宅先生のお話をじっくり聞けました。
- ・ 自分の知らなかった様々なクラスがありニーズもあることがわかった。今後は育児支援を行ううえでもニーズが高まっていくと感じた。
- ・ 助産師枠だけにとらわれず人生においてとても勉強になりました。
- ・ 三宅先生の医院はすごいなと思った。女性のための病院を作られていると思った。
- ・ 現在の様々なニーズがあることを知ることができ、興味深かった。
- ・ これからの産科診療所は三宅先生の所のようにサービス面も重視し、アメニティーも重視した所でないとやはり出産数の確保は難しいでしょうね。先生の所のような診療所が北九州にもできたらいいです。
- ・ 自分の人生を考え直すことができたと思います。
- ・ 魂をこめて自分も家族も幸せなまま仕事に打ち込めたら理想ですね。今の患者だけでなく消費者のニーズに対応しているメディカルディズニールランドはすごい。
- ・ 人生の話、熱いバワフルな話、助産師がうれしくなる話。
- ・ 考え方の幅広さを思った。以前思ったのは産科医は助産師つぶしだと思った事があった。私は開業医はワンマンであり助産師の考えを聞いてもらえないということがあったが、私の狭い視野だったのかを反省する。
- ・ お産に関する考えは共感できますが、病院のあり方は何かしっくりこないという感じでした。人生や生き方への考え方は面白いと思った。
- ・ 医師にこのような価値観を持っている先生がいらっしゃるのかと感激しました。
- ・ ありがとうございます。いろいろ考えてみたいです。
- ・ 「助産師としてやれるかも？」という意欲が湧いてきました。
- ・ 人生観、死生観、幅広く学ばせていただきました。モチベーションを高めることが出来ました。
- ・ 人生観などちょっと見方を変えるととても楽しいと思った。共通する部分もありまた「へえ」と思うような考え方もあり、とても参考になった。私も楽しく生きようと思う。これからの助産師の役割、期待は大きいのだなあと痛切に感じた。
- ・ 話を聞くうち何かやれるかも知れないと感じた。
- ・ 医療スタッフのQOL向上ということに取り組まれているというのはとてもうらやましい限りです。自分に余裕がないと人のお世話はむずかしいと常々思っていました。大切に思われているスタッフは患者様を大切に思うだろうし、そこにはよい人間関係が広がっていくように思います。

- ・ 妊産婦さんのニーズに応えるお産をしながら職員のQOLに目を向けておられるところがすごいと思いました。先生の夢、目標も素晴らしいなと思いました。助産師として、次の世代を生み、より良く育てていくお母さんを支える役割、使命感を持たねばと思います。
- ・ 今後どう生きるかなど人生について考えた。
- ・ 妊産婦に受けのよい病院を目指した商業ベースの感じがした。フランス料理、エステ、アロマ・・・わがまま小しか妊婦の要求にすべて応じることがサービスとなっている。「本当の上質のサービスはここにはない」と感じました。助産院にあるような心のこもったケアが大切だと感じています。講義の中にきれいな理想的な言葉は沢山並んでいましたが。
- ・ 助産師として人としてあり方、人間性の大切さ、日本文化のよさを改めて考えさせられました。日本文化をいろいろ調べようと思います。
- ・ 一部：人生について、人生のテーマ、生き方、そんな人としての基本的なことを学んだ。「うん、うん」とうなづくことができる。素敵なのはしばかりだった。二部：助産師として輝いてみませんか？⇒自分の助産師になろうと思った原点、初心を思い起こしやはり次につなげたいと思った。何かができる勇気がわいてきたようです。
- ・ 病院のことから人生に対する考え方など本当にありがとうございました。ちがった視点からも物事をみることでできとも興味深く感じました。
- ・ マイナスをプラスにして前向きに素直に生きて行きたいと思った。大切なことを沢山気づかされる時間だった。人生とか愛とか魂とか文化とか大好きな話ばかりだった。信念をもっていってきます。
- ・ 実際的なこととともに人生、生き方も教えていただきました。医師にこのような考えを持つ方があることを知る事ができた。
- ・ 最新の医療を絶賛されながら「スタッフの縁を大切にしている」「スタッフが幸せでないと人は幸せにできない」というお話にきめ細かな医療を感じた。
- ・ 人の一生に対してここまで色々な形で関わられるのかとある意味、びっくりしました。先生は産科医として1人の人間として様々な経験を通じて人生について悟られているととても感心しました。とても興味深いお話をありがとうございました。先生の熱さ忘れません。
- ・ よい助産師である前にひとりの人間として幸せに充実した人生を送らなければいけないと気づかされました。今の生活で本当によいのか？反省することしきりです。
- ・ いのちに関わる人間として、死に対していろいろと考え、学ぶ事の大切さを感じました。上質の人間力のある信念と情熱、やさしさを備えた助産師が必要とされていることを実感しました。

● その他気づいた点

- ・ ブランクのある私にとって、母子にかかわる事の大切さを改めて実感したところでした。社会的にも心の問題などが様々な形で浮かび上がってきます。早期に母子とその周囲のサポートが必要なんだろうなとしみじみ。このような機会を作っていただきましてありがとうございました。助産師として誇りを持って私なりに社会に貢献しなければと思ったところでした。
- ・ 今回の研修は学びたい内容が総て含まれていました。ありがとうございました。
- ・ 当日受付をさせていただきましたが、快くお受けいただき資料もわざわざコピーしていただきありがとうございました。
- ・ 3日間と短い期間でしたが、貴重な時間でもありました、自分が今おかれている立場を改めて考えさせられました。度々自分を成長できるような研修に参加できる場にこれからも計画してください。今日はありがとうございました。
- ・ 講師が挨拶されるのに会場のみなさんがもう少し大きい声で答えてあげてほしかった。
- ・ 15時くらいで終了していただけると帰るのに都合がよいのですが。
- ・ 今回の講師の素晴らしい先生方だった事。また助産師の現状をよくわかったことで年1～2回催してほしい。これだけ（受講者）の人材何か助産師で動かせないものではないでしょうか。もったいないです。
- ・ 乳房管理、手入れマッサージ、実際の保健指導などの研修会がありましたら教えてください。また再就職するにあたり再教育してくださる診療所や保健所の情報があれば教えてほしい。今回とても有意義な時間をもてましたことに感謝します。今後の活動の第1歩にしたいと考えております。
- ・ 各講義とも熱意のある先生方で長い研修時間でまして正座でよく自分の寝ずに頑張れたと思っています。やはり助産師の仕事が好きなんだなあと再確認した。

- 様々な事情により助産業務を離れている方々、10年もブランクがあり復帰するのを戸惑っている方々、家庭を知ることの大切さ、子育ての楽しさ、子どもの成長を喜びと感ずることの大切さや仕事をしたいのだけれどもできないもどかしさや焦り等々、体験されたことを、今悩めるお母さん方の相談に共感できますし、心に寄り添えると思います。それぞれの助産師さんの日々の活動の連続が大きな波となり、子ども達がおとなになり社会を変えていってくれることを信じて。ありがとうございました。とてもいい勉強をさせていただきました。診療所にいますが、少しでも妊婦さんのお役にたてるよう努力させていこうと思いました。基本を学ぶこと、産科学助産学を学ぶ事が大切だと思いました。
- 気づきとかではないのですが、新卒から4年目まで、某総合病院の産婦人科病棟で働き4年で70例ほど分娩介助を経験しました。5年目の10ヶ月は、個人病院で働いていましたが、分娩に対する考え方が経営者と違い、続けられませんでした。昨年12月より現在の総合病院の中の成育医療センター未熟児室で勤務していますが、新生児医療の勉強ができることを嬉しく思いながらも、やはり私はお産の現場でお世話させていただきたいと、今回の研修で強く思わせられました。もともと助産師になった当初は最終的には開業と志していましたので、今回やはりお産を大切にしたい本当にお母さんと赤ちゃんに質の高いケアを提供できるような場で、周産期の現場で働きたいし、開業も念頭に置いて今後の自分の人生を考えようと思いました。総合病院にいる間にいつのまにか考え方もずるくなり、流された自分に今回気づいてしまいましたので。もう一度初心にもどりたいたいとおもいます。よい機会になりました。
- 子育てしながら女性に関わる仕事ができたらと考えています。
- 産婦人科医院に勤め出産の少ないことに驚きました。とくにここ半年間の筑後地区における各市町村別の出産数をみて、2005年上半期の日本の人口がはじめて減少したという事実を実感しました。それとともに10代の中絶が多いこと、高校生の性病検査の多い事に驚く毎日です。助産師の役割はまだまだ沢山あるのではと日々考えています。
- 子どもが3人いて育児と親の介護の中で時間に制限があります。
- 結婚し、出産し2児の母となったが、夫が出張が多く、朝早く夜遅い不在の時間がほとんどで母子家庭のような状態。早く助産師として復帰したいが、子どもに問題が生じたりすれば難しい。そう感じて潜在助産師となっていました。やはり臨床から離れ、忘れていたことも多いので定期的に今回のような研修会を開いてほしい。また就職した場合の助産師の家庭のフォローもなんらかの形で整えていく環境がほしい。
- 素晴らしい講師陣で本当にこのような機会を与您えいただきありがとうございました。助産師としてだけでなく母として人として学ばせていただきました。
- 今のままでは開業は自信がない。このチャンスを与えてもらったことをありがたく思っています。今何ができるか一生懸命考えて行きたいとおもいます。
- まだよく考えていないが、地域で働きたいとは思っています。施設で働いていた頃は月給平均40万円でした。給料が高いにこしたことはありませんが、今思っているのは自分の仕事に対する満足感の方が上のような気がします。奥の深い素晴らしい講義に3日間も参加させていただき、本当にありがとうございました。また助産師として働いてみたいなあと思いました。講師の方々のお話はどれも印象深く、引き込まれてしまいあっという間の3日間でした。このような研修を企画していただき感謝しています。
- 今回の研修をきっかけに助産師としてできることを少しずつ考え、行動を起こしていければよいなあと思いました。将来的には診療所などで働きたいという希望がありますが、現在私が住む地域の診療所では社会保障(育休など)が充実しておらず子育て中はなかなか働くことができません。社会保障の充実も働きかけてほしいと思いました。
- 経験をつんだ上でまた次の可能性を考えたい。本当に心からこの研修会を受講させていただいたことに感謝いたします。2年半の実務経験(助産師としては1年)で退職しただけに夢半ばにしてこの道をあきらめていました。自分のこれからの姿勢で、まだ学びの機会があり、希望の光がみえたような気がしました。また多くの人と知り合うことで、皆さんほんとうにパワフルで刺激をうけました。知らなかった事ばかり(様々な学びがあること)もありました。今回多くの先生方の話をきき、心から助産師は素晴らしい仕事だと思いましたし、若いときに学べて本当に幸せだったとおもいます。ブランクも自分のプラスの経験とし、先生がおっしゃたように自分自身の理念、理想像をもち信頼できる人間となるよう努力してまいりたいと思います。
- 現在おかれている立場でぼんやりしていました。目が覚めました。ずっとこのままではいけないのではないかと考えていて、今回参加させていただいて本当によかったです。今後きちんと計画性をもち、役立つ助産師で生きていけるよう努力して行きたいと思います。スタッフの皆様ご苦労さまでした。

- ・ 子育て中でどのように働か悩み考え中。2日目、3日目に受講させていただきました。助産師である私の部分を大いに刺激してくださりありがとうございました。これからも色々な形でこのような研修を行なっていただきたいとおもいます。
- ・ ①助産師不足を言われる一方で、仕事を求めているが自分をPRする場がなく、就業できない助産師も多い。もっと情報（就職先の）が得られるシステムがほしい。②助産師としての経験が乏しい私には今回の3日間が興味深く大変有意義なものになりました。
- ・ 結婚して転勤のある生活となり、知らない土地で自分なりにどう働か日々悩んでいました。こういう機会に恵まれ、とても感謝しています。今回の講義を受け私達助産師は女性を支援する立場であると同時に支援される側でもあることに気づきもっともっと働き易く変っていく、変えていくことも必要だなと考えました。やはり私は助産の仕事が好きなのにも気づきました。是非バンクの設立をきたいします。特に病院側の情報をもっとほしいですね。自分がしたいこと学びたい事はあってもどこで働けばよいのかなかなか情報がなく困っています。
- ・ 家庭の都合にあわせて自分にできることは何だろうか。福岡にも三宅医院のような施設研修生を受け入れるところはあるのでしょうか。

大阪会場

① 母子保健の動向と課題

- ・ 難しいと思っていた母子保健の動向をよく説明していただいたので分かりやすかったです。
- ・ 小しか社会の減所を知り、厚生労働省（国民）が課題を持っている中で、助産師に期待していることがわかった。
- ・ 現在の母子保健の傾向や関連性を知ることができた。助産師の必要とされている場がたくさんあることに気づかされた。
- ・ 産科医療や母子を取り巻く最近の状況がよくわかりました。問題に対して、行政がされている背景を知ることができ、参考になりました。
- ・ 変化に鈍感になっていましたが、新しい情報がわかりよかったです。助産師が今後もっと地域に出やすい受け皿ができてくれることを願います。
- ・ 難しい内容を大変わかりやすく講義していただきました。
- ・ 厚生労働省の方から直接現状を聞いてとてもよかったです。
- ・ 健やか親子21のことや現在の母子保健の問題についてよくわかりました。
- ・ 行政で活躍されている助産師から具体的な母子保健政策と現状、また今後の展望についてなど、先端の情報が得られ、今後の進路を決めるにあたり、とても参考になった。
- ・ 行政の動きと助産師の必要性が関連していてわかりやすくて、よく理解でき、頭に残りました。
- ・ 社会背景、健やか親子21プランを学びこれからの助産師の役割を知ることが出来ました。
- ・ あまり差し迫った身近なこととして考えられないから。すみません。
- ・ 生涯を通じた女性の支援について考えさせられました。
- ・ 「健やか親子21」事業など中央省庁または行政（地方）の考え方や行動を知ることができ満足しています。
- ・ 資料がわかりやすく助産師の視点からの統計の説明が参考になりました。
- ・ 最新の情報を入手できた。
- ・ 難しくややこしい部分をとても分かり易く教えていただけたため。
- ・ なかなかわかりにくい（とかよりがたい）行政の施策について、わかりやすく説明していただけた。今後の助産師活動へ関連づけての講話であり、参考になった。
- ・ 研修のスタートとして母子保健の概要がよくわかった。
- ・ 現在母子保健に置ける動向と課題について、また、今後の助産師の担う役割についてわかりやすく説明していただき、私にも何かできるのかなと思うことが出来ました。
- ・ 母子保健の動向と課題について、分かり易く説明してもらえたので、課題がよくわかった。「健やか親子21」の思春期にかかわりたいと考えている。
- ・ 助産師の活躍が着たいされているポイントが分かりやすかったです。
- ・ 国民動向最新版。ちょこちょこは耳にするが、国の政策を詳しく知ることができました。
- ・ 助産師の役割は分娩介助だけではなく、思春期の問題や性の問題、虐待などさまざまであると改めて感じました。女性の色々な問題に対して心のケアや必要な指導をしていくことが、いいお産につながり子育てへの自信にもつながっていくのだと思います。助産師の仕事は本当に大切な仕事だと思います。

- ・ 就業していないということで、どうしても病院勤務しかイメージできなかったが、地域での活動の場があることや、妊産婦に限らずライフサイクル全てに関われることを再認識できたから。
- ・ 難しい行政の話をわかりやすく説明してくださった。現状がわかった。
- ・ 現在の母子保健の状況がわかりやすく説明されていたから。

② 妊産婦のニーズと助産師の役割

- ・ 開業するにあたっての不安な点をいかにクリアするか助産師の姿勢がよくわかった。
- ・ 11年前にはありえなかった活動をなさったことに感動した。
- ・ 大阪市の積極的な取り組みを知ることができてとてもよかったです。
- ・ 現在の大阪府下でのオープンシステムの内容や実際に取り扱った例などを紹介していただき、とても勉強になりました。
- ・ 人と人の関わりを大切に、助産師活動を繰り広げておられる様子が伝わってきて、勇気付けられました。憧れの気持ちをもって拝聴しました。
- ・ 理想とされる助産師のあり方や、医師とのかかわりが、聴けてとても興味深かった。
- ・ オープンシステムの話が聞けてとてもよかったです。
- ・ 明確に話して下さってよかった。実際のケースも紹介して下さってためになった。
- ・ 大阪での助産師活動、オープンシステムについて学びました。会員で力を合わせればもっと前進できると思いました。
- ・ 地域で生き生きと活動されている具体的な話（事例などを含む）をうかがうことが出来、助産師として生きることに対する誇りや大切さを学べ、私もそんな生き方をしたいと久々に思えた。
- ・ 育児をしながら幅広い場でご活躍されている上、幾度ときっかけと勇気をお持ちになって地域に戻られ、ますます輝いていらっしゃるご様子がとても勇気付けられました。
- ・ 地域貢献、地域に密着した具体的なケアを学ぶことができた。
- ・ 内容以上に熱気が伝わってきた。大阪市の取り組みの良さ（助産所の助産師が病院について助産するなど）が分かるとともにそのようにするために努力されたことに感動した。
- ・ 産科オープンシステムなどの具体的な話が参考になりました。
- ・ 助産院の妊産婦とのかかわりを学べた。大阪行政や地域医療機関とのかかわりを学べた。
- ・ 実際の助産院や地域の活動の話が聞けたため。
- ・ 実際の活動をふまえて、オープンシステムとはどういうかたちのものか理解しやすいよう伝えていただいた。助産師としての「責任」を果たせるよう努力したいと思った。
- ・ オープンシステムの体制が取れる要因は「大阪地区の母子保健の高い意識」「受け入れ病院の体制（考え方がよい）」「たが助産院の実力とその評価が高い」のいずれもが素晴らしい。
- ・ オープンシステムを導入されて、医療機関とのより良い関係を築いておられる話をきかせていただけて、良かった。
- ・ 助産院の話などをまじめるととても興味深い内容でした。大阪府助産師会のことなども聞けてよく理解できました。
- ・ オープンシステムや母子訪問に興味をもった産婦さん、それぞれの多様なニーズに応えるケアを考えて見たいと思った。
- ・ 現在開業されている助産師から今のお母さん達の置かれている現状、望んでいることなど多くの内容を教えられた。“助産師として” “プロとして” すごいと思った。
- ・ 開業されてどんな活動をされているかとても興味深いお話でした。産科オープンシステムも助産師による専門的家庭訪問支援も初めて聞いたのですが、具体的な事例もお話して下さって、わかりやすかったです。いろんな場で助産師のできることはたくさん有り広く活動していかなければいけないなと思いました。
- ・ 実際の地域活動や開業助産婦としての実際など詳しくわかりよかった。新しくオープンシステムとしての病院との連携もわかりよかった。
- ・ 母上との分担内容など身近に感じられて、現実感を肌で感じた。
- ・ 興味ある内容で、話を聞いているだけで楽しかった同じようなオープンシステムが増えていくと産科全体がよくなっていくように思う。
- ・ 具体例で失敗や喜んでもらったことなど具体的に話し方も聞きやすかった。ただ、産科セミオープンシステムは都会にあり医師の理解あつてのことで、日本の縦割りなわばり行政を変え、医師の意識を変えていくのは難しい。何十年も実績ある助産院だから医師の信頼も勝ち得たと思う。勇気付けられるけど、勤務スタッフの一員として

日々の業務にきちんと行い地域に貢献できれば・を目標としています。

③ 今後の活動についてディスカッション

- ・ 同窓の助産師の方がたくさん出席されているのがわかってとても心強い思いでした。近隣の助産師の方もおられ、今後の展望に見方を得た思いです。
- ・ 同じような休業年数の方や、最近まで活動されていたという方と話をする機会を持ち、今まで忘れかけていた助産師という自分を見直すことができました。
- ・ 参加者の生の声が聞け、前向きな意見が出て、励みになりました。自分自身は活発に意見を出すことが出来ませんでした。
- ・ 自分と同じ不安や思いを持った方々と、今後の活動や今までの経験などをディスカッションできて、良い刺激になったと思う。
- ・ 様々な経歴や目的をもった方々とお話ができ、刺激になりました。ほとんどの方に共通していたのは助産師として活動したいけど不安も大きいということでした。楽しい時間でした。
- ・ 最初何について話し合いかかわらなくて、ディスカッションは苦手なので困りましたが、グループの方のいろいろな経験を聞いてよかったです。
- ・ グループワークで経験豊富な方の意見を聞き、それぞれいろいろな生き方があるのだと感じさせられました。現在育児専念中ですが、少しずつ地域へ出たいと思います。
- ・ グループワークがとても良かった。先生の活動的な行動に刺激されます。
- ・ 他の潜在助産師の方がどのように考えどのような問題を抱えているのか分かりました。また、交流できてよかったです。岡本先生の話はいつもパワーをもらい勇気づけられます。
- ・ 私は未婚で子育て経験がないが、子育て経験が現場で生かせるという話を伺い、結婚、育児、分娩がしたくなりました。いつでも“助産師”として自分の能力をどう生かしていくべきかいろいろ学びました。
- ・ 色々な方のご意見を伺い勇気も出てきました、不安はたくさんですし、家庭もあるので、無理のないところから取り組んで行きたいです。つながりも作ることができてよかったです。
- ・ 潜在助産師の生の声が聞けてよかった。気持ち的にひけてくる場所もあったが、一緒に頑張ろうという気持ちが出てきた。
- ・ テンポよい話の中に今後の活動のメッセージ、ヒントを教えていただいた。
- ・ 参加メンバーとの交流から自己の振り返りができたように感じました。
- ・ グループ別に話し事で参加されているほかの方と話す機会が出来、講師の先生の話術もすばらしかった。
- ・ 具体的な今後の活動についての自分自身の答えは見つかりませんでしたが、お仲間とお話できたことは有意義でした。
- ・ 良い出会いに恵まれ感謝です。
- ・ 他県での多様なはなら気を知ることができ、これからの参考になった。
- ・ 友人ができるきっかけとなった。岡本先生が足踏みをしている自分の背中を押してくれているようなそして助産師会全体が仲間のように思えた。
- ・ 潜在助産師として一言でくれないくらい多様で、それぞれの背景や、今取り組まれていることなど興味深い話が聞けてよかった。
- ・ ディスカッションの中で、色々な方の体験談や今後の活動に対する意欲などすごく刺激をいただきました。先生のパワフルなお姿に力をいただいて今後自分が1歩踏み出す力になったと思います。
- ・ まずは開業届を出してみる・・・。話を聞いて何かしたくなった。
- ・ 自分自身のブランクの不安を共感してもらえてうれしかった。焦って仕事を再開してもいいことないんだなあと思った。少しずつ何かできれば未来が開けるかな。
- ・ 楽しくディスカッションできた。地域でやれることは数多くあることがわかった。
- ・ グループワークで話し合っていると育児のために休業している方や海外で活動されているかたなど、色々な方がおられました。私も育児のため勤務していた病院を退職して3年8ヶ月になりますが、不安にばかり感じずに自分の子育ての経験も生かして助産師としても新たな第一歩を踏み出さなければという気持ちになりました。
- ・ グループで様々な理由で就業していない方と話せたのがよかった。出産を機に退職し育児をしているうちに年月がたったという人が多いことに何か対策があればなと感じた。
- ・ 参加者の思いが聞けて心強く感じた。先生に背中を押された感じです。
- ・ 初めて緊張がほぐれ、他の方とお話する機会ができました。
- ・ 助産師ができること、助産師に対するニーズが多いことは頭ではわかっているがなかなか行動にできない。いろ

いろいろな人の話を聞くことでそう思うのは自分だけではないし、みんな手探りで頑張っていることがよくわかった。できることからやってみようかなと思えた。

- ・ 顔見知りになり、仲間の話が聞けてよかった。大先輩に勇気もらった。

④ 最近の産科管理

- ・ 学生のときと違って臨床を経験した後しばらく現場を離れたわたしでも スーツと入ってきてくれる分かりやすい興味深いお話でした。
- ・ 産婦人科医の減少、産科施設の減少という実態を今回初めて知りました。また最近の周産期医療についての講義もとても勉強になりました。
- ・ 最近の産科医療の現状を知ることができた。
- ・ 妊娠高血圧症候群の新しい基準や、現在の母体体重管理などを情報として得られてよかった。
- ・ 昔の記憶が一部よみがえったように思います。
- ・ 医学用語が新しくなったことも知ることができ、忘れていた用語の復習になりました。
- ・ 妊娠高血圧症候群に変わったことなど、医療の変化を教えていただき、大変勉強になりました。
- ・ 医師側の大変さはよくわかりました。
- ・ 現在の医師の大変さはよくわかりましたが、「最新の産科医療（管理）」についてももう少し詳しく、また、これについて時間を費やしてほしかったです。
- ・ 現場の最前線で働く医師の本音が垣間見えて興味深かった。
- ・ ブランクが4年ありますが、少しずつ考え方の違いや発展を確認できた。
- ・ 魂のレベルで話をされていることに対し驚いた。これからの考え方や方向性として必要だと思う。
- ・ 最新の情報を聞くことができてよかった。
- ・ 産科医師不足、少子化等の現状から産科領域での必要な知識を学ぶことができました。
- ・ 話の内容は良かったが、具体的に病院で行われている検査、処置とか詳しく聞きたかった。
- ・ PIHなど勉強になりました。
- ・ 分娩管理の資料で新しい知識を吸収できると思います。
- ・ 産科医が現在の周産期の何をどう問題と考えているかわかった。平成14年度に助学で学んだが、さらに新しい情報をたくさん学べた。
- ・ PIHについてくわしく知れた。
- ・ 現場野医師の声が聞けてまた、新しくなった定義等含め参考になった。
- ・ 周産期医療の総括としてわかりやすかった。
- ・ ブランクが10年近いので、忘れていること、知らないこともたくさんあり、勉強しなくてはいけないと再認識しました。
- ・ 最新の産科管理について問題点と話題について触れられよかった。用語の変更など日々変化しているのに、ついてゆかなくてはと自覚する。
- ・ 管理だけでなくマンパワーの現状もよくわかった。
- ・ 最新の産科管理ということで、少子化や妊婦の高齢化など現代の問題点や産科医師、分娩施設の減少などの現状について説明していただいてわかりやすかった。また、超音波などの検査のお話や体重管理のことなど、とても勉強になった。
- ・ 最新のエコー、ドップラー、CGTをはじめ、リスク評価や妊娠中毒症の概念の変化など本当に新しい情報を知ることができよかった。
- ・ IT関連の医者の本音の部分が少し感じとれた。最新の情報がわかった。
- ・ 自分が学んだ頃とは変わってきている定義や考え方を学ぶことができてよかった。
- ・ 少し助産師のこと、持ち上げすぎてるけど。医師が一生懸命医療を支えているのが伝わってきた。勤務スタッフとして、医師の多忙さが気の毒に思えることが多い。スタッフの一員として医師とお母さんのよきサポーターになれるよう働いていこうと心新たにすることが出来ました。私と同じ夜勤回数でビックリ。

⑤ 新生児のポイント 助産所業務ガイドラインについて

- ・ 新しい考え方、現場の状況等、一番知りたい内容であった。
- ・ 症例を通して詳しく説明して下さり、とてもよくわかりました。そして楽しい講義でした。機会があればまた是非受けたいです。
- ・ 大事な観察ポイントを詳しく教えていただいた。

- GBS、MRSA 等興味のある内容を実際に聞いた。スライドでは、実際のベビーの状態を説明と一緒に聞いて勉強になった。
- 赤ちゃんのことをいつも真剣に見つめておられる姿勢が伝わってきました。改めて、教えていただくことがおおきかったです。
- 忘れていた知識や新しい知識が入りとても勉強になりました。症例がとてもよく分かりやすかった。
- 妊娠中の管理やアプガールスコアを性格に決めることの重要性がわかった。
- 症例を通してパワーポイントの映像も拝見しながらとても勉強になった。
- パワーポイントを使って目で学習することができ、わかりやすかったです。
- わかりやすい説明でとても勉強になった。3 時間があつという間に感じ、もっと詳しい説明と時間をかけてきたいと思った。ぜひ現場で生かし医師間と信頼をお互い築けるよう頑張りたい。
- 分かりやすかった。アプガールの見方などすぐにでも役立つそう。
- 見たことのない症例など勉強になった。小児科医師と家族間との心のケア、信頼観など先生の人生観が伝わってきた。
- 大変分かりやすい説明だった。新生児期の観察ポイントがわかりました。
- わかりやすい。必要なことが講義の中にあつた。事例がたくさんあつた。蘇生の実技もしたかった。たくさんの事例をみたためか、復帰するのがこわくなった。
- 新生児管理の再確認ができました。アプガールスコアもう一度見直したい。
- 写真もあり point わかりやすく説明してくださりよかったです。
- 大変興味深くわかりやすかった。すぐに生かせる内容だった。
- 出産直後よりの話が多くありましたが、新生児訪問を対象にした話もお聞きしたかった。
- アプガールスコアを超えにだしてというのが、異常には前もってサインが出ていると言う反省をしていかなければならないということは何においても大切だと思った。
- 同じ疾患処置でも昔と今とでは考え方が異なっている点など勉強になりました。
- スライドを観ながら今まで診たこともない症例を見て印象強く頭にはいつてきました。内容もわかりやすかった。
- とてもわかりやすく参考になりました。またまた参加できますようお目にかかれますよう願っています。
- 資料代を支払ってもいいので、早期新生児病状のカラー写真の部分はプリントしていただけると嬉しい。白黒で不鮮明な物も有り、資料意義が低いものもあつた。
- 学生時代からお話を聞きたかった。とても噛み砕いたわかりやすい言葉と、実際のケースの話のを伺え感動した。
- 症例写真などを用い、大変分かりやすい内容であつた。アプガールスコアの判定など、正しい知識を持ち、現場で生かせる内容になっており、役立つと思えた。
- 「新生児の観察」だけでなく、ベビー、お産、助産所への思いが良く伝わつた。こんな小児科医師と一緒に働けたらと思つた。
- 改めてアプガールスコアの大切さを講義の中で教えていただき身が引き締まりました。赤ちゃんの見方、異常児への対応等、先生の考え、実際なさつていることに對し、深く感銘しました。
- 写真等使われよくわかりました。ポイントがまとめられ楽に内容についていけてよかつた。
- 出生直後の観察のポイント、特に必要なことや医師が望むことがよくわかつた。異常時事後の対応に気をつける話もよかつたです。
- なぜそうなるのか、原因をわかりやすく説明してもらえ、よく理解できた。
- アプガールスコアの重要性と性格に観察するために常に訓練することが大切だということをそして色々な病気や新生児の観察ポイントを教えていただき勉強になりました。赤ちゃんの異常を発見するために、「どこかおかしい」「いつもとちがう」といつた。観察力を養わなければと思つた。
- アプガールスコアの意味大切さがよくわかつた。たくさんの写真で新生児の症状や予測される徴候などよくわかつてよかつた。
- 症例を通して具体的に説明してくださつた。
- ハキハキとした声で体験談を入れてわかりやすい内容だった。質問時間があればよかつた。
- 自分の今までの経験や知識を振り返りながら再確認したり、新しく学んだりできてよかつた。

⑥ 助産師と産科医の連携

- 助産師の病院との連携、こんな先生がそばにいてくださつたら、心強いのになあと残念。死産についての考え方とても心に残りました。
- 病院、助産院、開業医におけるそれぞれ立ち場、思い、信頼関係について実際にあつた話などを交えての講義で

とてもよく分かった。

- ・ 信頼関係を作ることがいかに大切かがわかった。赤ちゃんに問い掛けること、胎内記憶や母乳のことなど興味深い内容でした。
- ・ 先生のように開業助産師への理解を得られているのはすごくうらやましく理想的だなと思った。先生のお産や胎児に対しての考え方も勉強になった。
- ・ 生死について、もっと深く考え、自分の価値観をしっかりと持って、助産師として母子に関わっていく必要があると感じました。とてもよい先生だと思いました。
- ・ 医師のような先生と連携できる助産師は幸せだと感じます。病院や助産院の意識の違いや先生の考えなどたくさんのお話やベビーの胎内教育、意志あることなどユーモア交えて話していただき感動あり、学びありでよかったです。
- ・ 大変心の広いユニークな先生のお話を聞いて楽しかったです。
- ・ 本音も交えてさらに現場の状況を交えてとてもおもしろかった。
- ・ 開業するにあたっての心構えなど、とても参考になりました。また、赤ちゃんに問い掛けること、胎内教育のこと、流産死産の意義など、今まで考えつかなかったことを気付かされました。
- ・ 素晴らしい、お話に感動した。そして助産師など医療者が介入することにより本来母親の持てる“自然な力”をさまたげているのではという問いかけにもなるほどと思った。お産に携わりたいととても思えた。
- ・ 病院の現状がよく理解できた。今後自分たちがどのように病院とネットワークをもっていくかの学びになった。
- ・ 産科医の先生がこんなに身近に感じられたことはなかった。
- ・ とても満足。胎内記憶の話も聞きたかった。信頼関係を築くことの大切さを強調され、その必要性がよくわかった。
- ・ 助産師の役割、アメリカとの比較、マンパワーの不足などロースクール問題などから分かり易く説明していただきました。
- ・ 現在、就職していないので、ピンとこないお話もあったが、楽しく聞かせていただいた。また働きたいと思わせてくれる講義だった。
- ・ 助産師として復帰する勇気がわいた。改めて自分の使命について考えさせられた。楽しく聞かせていただき、時間がアツという間に過ぎた。
- ・ 具体的内容というより、精神的な心のもち方（妊産婦に対して、医師や他の病院の人に対して）を教えていただき、目から鱗という感じであった。
- ・ 日ごろはあまりお聞きすることのできない産科の医師の助産師への思いをお聞きすることができました。
- ・ とても話し方がやさしくてわかりやすく、先生の人柄も感じられて、とても大切なことを教えられて頂きました。胎内記憶の分野はとても興味深かった。
- ・ 魂のふれあいで分娩介助をする、母乳について見守ることの大切さを学びました。
- ・ エビデンスはなくても共感できる部分は多くあり、医師との付き合い方、大きい医療機関との関係のとり方など学びになった。
- ・ ○○助産院との関係がうらやましく思った。自分も何らかの役立つ存在なのかと少し思えた。
- ・ 嘱託医の先生からの貴重なお話が聞けた。今後自分が取り組むべき問題へのヒントとなった。胎内記憶など興味深い内容であった。
- ・ 胎内記憶に関する研究の話が面白かった。「赤ちゃんに聞いてみる」は目からうろこの思いがした。助産師を客観的に見る視点も興味深い。
- ・ 助産師と参会の関係作りについて、体験を含めた講義を聞かせていただき、開業にあたって学ぶべき多くのことが得られたと思います。赤ちゃんと対話されている先生のやさしさに感動しました。
- ・ “胎児やベビーに処置してよいか聞いてから行う” “生まれようとする赤ちゃんを信じてあげる” 出産医関わることの喜びをいかに感じるか…共感できる。
- ・ 先生の色々なお話で楽しく再就職しないなあと思いました。助産師、医師が協力して産婦さんのためにできることは国を作る・・・なんてすばらしい。
- ・ 助産院を開業したらこのような産科医が嘱託医になった欲しい。
- ・ 妊婦さんの望まれるお産ができるように、サポートし、安全で、いいお産ができるように、産科医や病院との連携が大切で妊娠中から医院や病院でもエコーなどの検査を受けたり、日頃から人間関係もよくしておく必要があるんだなと思いました。胎児の頃の記憶のお話や望まない妊娠中の時は流産するというお話も興味深いものでした。